



2020年11月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年4月10日

上場会社名 オースジー株式会社 上場取引所 東・名
 コード番号 6136 URL https://www.osg.co.jp/about_us/ir/
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石川 則男
 問合せ先責任者(役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 大橋 英之 (TEL) 0533-82-1113
 四半期報告書提出予定日 2020年4月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年11月期第1四半期の連結業績(2019年12月1日~2020年2月29日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年11月期第1四半期	28,867	△8.7	3,538	△32.4	3,569	△35.7	2,343	△37.2
2019年11月期第1四半期	31,613	2.8	5,237	△3.6	5,551	3.1	3,729	14.2

(注) 包括利益 2020年11月期第1四半期 1,004百万円(△63.8%) 2019年11月期第1四半期 2,777百万円(80.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年11月期第1四半期	24.10	23.85
2019年11月期第1四半期	38.06	37.63

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年11月期第1四半期	191,434	138,074	66.5
2019年11月期	190,414	140,658	67.8

(参考) 自己資本 2020年11月期第1四半期 127,336百万円 2019年11月期 129,078百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年11月期	—	23.00	—	24.00	47.00
2020年11月期	—	—	—	—	—
2020年11月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2020年11月期の連結業績予想(2019年12月1日~2020年11月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通期	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、現時点において業績予想を数値で示すことが困難な状況となっているため、2020年1月10日付で公表いたしました業績予想を未定といたします。合理的に予測可能となった時点で公表いたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年11月期1Q	98,147,239株	2019年11月期	98,147,239株
② 期末自己株式数	2020年11月期1Q	886,987株	2019年11月期	955,408株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年11月期1Q	97,228,484株	2019年11月期1Q	97,969,930株

(注) 期末自己株式数には、オーエスジー社員持株会専用信託が保有する当社株式を含めております(2019年11月期925,900株、2020年11月期第1四半期856,600株)。また、同信託が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式を含めております(2020年11月期第1四半期888,950株)。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1.(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- ・当社は四半期決算補足説明資料を作成しており、決算発表後一週間以内に当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8
(4) 販売の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における経済環境は、英国のEU離脱問題や米国とイランの対立に加え、中国において発生した新型コロナウイルス（COVID-19）による世界的なパンデミックリスクにより非常に先行き不透明な状態で推移しました。国内においては、消費・生産共に弱含んでおり、輸出も低調に推移しました。一方で為替市場は前年同期と比較して円高で推移しました。当社グループの主要な市場においては、自動車の生産台数は前年同期と比較して減少し、航空機関連産業も厳しい状況となりました。

このような環境の中、海外売上高比率は日本及びアジアでの売上が低調だったことに対して、米州及び欧州・アフリカは前年同期とほぼ同水準を保ったため60.5%（前年同期は57.8%）と増加しました。

以上の結果、売上高は28,867百万円（前年同期比8.7%減）、営業利益は3,538百万円（前年同期比32.4%減）、経常利益は3,569百万円（前年同期比35.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,343百万円（前年同期比37.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、現金及び預金等が減少しましたが、商品及び製品、のれん等の増加により、前連結会計年度末（以下、「前期末」という）と比較して1,019百万円増加し、191,434百万円となりました。

一方、負債は未払法人税等の支払い等による減少がありましたが、短期借入金等の増加により、前期末と比較して3,603百万円増加し、53,359百万円となりました。

また、純資産は資本剰余金、その他有価証券評価差額金、為替換算調整勘定等の減少により、前期末と比較して2,584百万円減少し、138,074百万円となりました。この結果、自己資本比率は66.5%（前期末は67.8%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想等につきましては、2020年1月10日付「2019年11月期 決算短信[日本基準]（連結）」で開示した連結業績予想等を修正いたしました。詳細につきましては、本日（2020年4月10日）に開示しました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	26,950	23,297
受取手形及び売掛金	22,400	22,069
有価証券	11	11
商品及び製品	29,844	31,169
仕掛品	6,376	6,362
原材料及び貯蔵品	7,658	7,813
その他	3,061	3,098
貸倒引当金	△198	△190
流動資産合計	96,104	93,632
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	18,663	18,607
機械装置及び運搬具（純額）	35,217	35,271
土地	14,864	14,848
その他（純額）	9,391	11,188
有形固定資産合計	78,137	79,916
無形固定資産		
のれん	3,613	5,811
その他	1,412	1,377
無形固定資産合計	5,026	7,188
投資その他の資産		
投資有価証券	3,882	3,927
その他	7,628	7,127
貸倒引当金	△364	△358
投資その他の資産合計	11,146	10,696
固定資産合計	94,309	97,801
資産合計	190,414	191,434

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年2月29日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,039	5,421
短期借入金	2,742	10,461
1年内返済予定の長期借入金	546	555
未払法人税等	2,699	1,272
賞与引当金	415	1,472
役員賞与引当金	253	99
その他	10,881	7,280
流動負債合計	23,578	26,563
固定負債		
社債	5,000	5,000
転換社債型新株予約権付社債	1,670	1,670
長期借入金	16,822	16,832
退職給付に係る負債	504	669
その他	2,179	2,623
固定負債合計	26,177	26,796
負債合計	49,755	53,359
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,194	12,194
資本剰余金	13,731	13,054
利益剰余金	109,428	109,386
自己株式	△1,894	△1,757
株主資本合計	133,460	132,877
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,281	654
繰延ヘッジ損益	—	△0
為替換算調整勘定	△5,663	△6,195
その他の包括利益累計額合計	△4,381	△5,541
新株予約権	13	13
非支配株主持分	11,567	10,725
純資産合計	140,658	138,074
負債純資産合計	190,414	191,434

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年12月1日 至2019年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年12月1日 至2020年2月29日)
売上高	31,613	28,867
売上原価	18,017	16,889
売上総利益	13,596	11,978
販売費及び一般管理費	8,358	8,439
営業利益	5,237	3,538
営業外収益		
受取利息	68	47
受取配当金	18	18
訴訟損失引当金戻入額	381	—
補助金及び助成金	23	115
その他	246	217
営業外収益合計	738	398
営業外費用		
支払利息	45	42
売上割引	193	171
為替差損	131	64
その他	53	89
営業外費用合計	424	368
経常利益	5,551	3,569
税金等調整前四半期純利益	5,551	3,569
法人税、住民税及び事業税	1,661	1,047
法人税等調整額	△57	60
法人税等合計	1,603	1,108
四半期純利益	3,947	2,461
非支配株主に帰属する四半期純利益	218	118
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,729	2,343

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年12月1日 至 2019年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年12月1日 至 2020年2月29日)
四半期純利益	3,947	2,461
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	54	△630
繰延ヘッジ損益	—	△0
為替換算調整勘定	△1,224	△826
持分法適用会社に対する持分相当額	0	0
その他の包括利益合計	△1,170	△1,456
四半期包括利益	2,777	1,004
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,829	1,169
非支配株主に係る四半期包括利益	△51	△164

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結会計期間において、連結子会社であるOSG Iberica Tooling, S.L.の株式を追加取得したこと等により、資本剰余金が676百万円減少しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

一部の連結子会社は、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(会計方針の変更)

(ASC第606号「顧客との契約から生じる収益」の適用)

当社の米国会計基準適用子会社は、当第1四半期連結会計期間よりASC第606号「顧客との契約から生じる収益」を適用しております。

当該会計基準の適用が四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(IFRS第16号「リース」の適用)

当社のIFRS適用子会社は、当第1四半期連結会計期間よりIFRS第16号「リース」を適用しております。これにより、リースの借手は、原則としてすべてのリースについて資産及び負債を認識することといたしました。

当該会計基準の適用が四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(追加情報)

(従業員等に信託を通じて当社の株式を交付する取引)

当社は、当社従業員に対する当社の中長期的な企業価値向上へのインセンティブの付与を目的として、従業員持株会に信託を通じて当社の株式を交付する取引を行っております。

1 取引の概要

当社は、「オーエスジー社員持株会」(以下、「持株会」といいます。)に加入するすべての従業員を受益者とする「オーエスジー社員持株会専用信託」(以下、「従持信託」といいます。)を設定いたします。従持信託は、5年間にわたり持株会が取得すると見込まれる数の当社株式を取得し、持株会に売却を行うものであります。信託終了時に、株価の上昇により譲渡利益等が生じた場合には、受益者適格要件を満たす者に分配されます。株価の下落により譲渡損失等が生じ信託財産に係る債務が残る場合には、金銭消費貸借契約の保証事項に基づき、当社が銀行に対して一括して弁済することになっております。

2 信託に残存する当社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額(付随費用の金額を除きます。)により純資産の部に自己株式として計上しております。当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、前連結会計年度1,847百万円、925,900株、当第1四半期連結会計期間1,708百万円、856,600株であります。

3 総額法の適用により計上された借入金の帳簿価額

前連結会計年度1,844百万円、当第1四半期連結会計期間1,680百万円

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年12月1日 至 2019年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	米州	欧州・ アフリカ	アジア	計		
売上高							
外部顧客への売上高	13,461	5,572	5,397	7,182	31,613	—	31,613
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,978	104	38	863	5,985	△5,985	—
計	18,439	5,677	5,435	8,045	37,598	△5,985	31,613
セグメント利益	2,990	808	376	1,148	5,324	△87	5,237

(注) 1 調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

当第1四半期連結会計期間より、Brunswick Tooling Ltd等の重要性が増した会社を連結の範囲に含めております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、「米州」セグメントにおいて915百万円、「欧州・アフリカ」セグメントにおいて56百万円であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年12月1日 至 2020年2月29日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	米州	欧州・ アフリカ	アジア	計		
売上高							
外部顧客への売上高	11,505	5,750	5,496	6,115	28,867	—	28,867
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,452	103	24	523	5,103	△5,103	—
計	15,958	5,853	5,520	6,639	33,971	△5,103	28,867
セグメント利益	1,501	595	306	710	3,113	425	3,538

(注) 1 調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

当第1四半期連結会計期間より、OSG BASS Holding GmbH等を株式を取得したこと及び重要性が増したことにより連結の範囲に含めております。当該事象によるのれんの増加額は、「欧州・アフリカ」セグメントにおいて2,412百万円であります。なお、一部ののれんの金額は取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

(4) 販売の状況

(単位：百万円)

品 目 別		前第1四半期連結累計期間 (自 2018年12月1日 至 2019年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年12月1日 至 2020年2月29日)
切削工具	ねじ切り工具	9,828	9,002
	ミーリングカッター	6,643	5,923
	その他切削工具	9,130	8,222
	計	25,603	23,148
転造工具		2,541	2,245
測定工具		478	461
その他	機械	907	1,149
	その他	2,083	1,864
	計	2,990	3,013
合 計		31,613	28,867